

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17127
課題名	心房中隔欠損患者における心電図の異常波形の原因解明
研究期間	倫理委員会承認日～平成 30 年 3 月 31 日
研究の対象	平成 25 年 1 月～平成 29 年 3 月までに当院小児科で心臓カテーテル検査を受けた、心房中隔欠損の患者さん。当院小児科で継続してフォローを行なっている、0～30 歳までの方を対象とします。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：過去の入院時に検査した心臓カテーテル検査結果、心電図検査結果） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	心房中隔欠損の患者さんでは色々な心電図の変化が生じる。そのうち Crochetage pattern というものは下方誘導の電気軸の異常波形として知られていますが、なぜ発生するのかについてはわかっておりません。そこで、我々は Crochetage pattern の原因が心臓の右心室が伸びる方向に原因があるのではないかという仮説を立て検証を試みることにしました。これにより、心房中隔欠損の患者さんで Crochetage pattern がなぜ発生するのかを知ることができると考えます。
研究の方法	小児科病棟で入院加療を行った患者さん(0～30 歳)を対象とします。入院時に心臓カテーテル検査を施行した患者さんの右心室の造影検査結果を利用させて頂き、右心室の収縮期並びに拡張期面積から、筋肉の伸びる程度を面積で計算し、それを 6 分割します。各面積と心電図波形を比較し、関連があるのかどうかを調べます。
その他	特記事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)： 北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 TEL: 0166-68-2481、 旭川医科大学小児科学講座・岡 秀治</p>